

# 「親」をまなぶ・ 「親」をつたえる 指導用教材 (小学生向)



## みとめあう

- 1 気づく
- 2 思いやる



# 「親をまなぶ・親をつたえる」指導用教材

## も く じ



### はじめに

～「親をまなぶ・親をつたえる」小学生向け親学習教材の発行にあたって～

…P 1

### 1 教材について

…P 2

#### (1) 対象

#### (2) ねらい～みとめあう～

#### (3) 構成

#### (4) 関係図

### 2 参加体験型学習について

…P 3

### 3 指導例

…P 5

#### 『気づく』 指導例①

…P 7

#### 指導例②

…P 8

#### 『思いやる』 指導例①

…P 9

#### 指導例②

…P 10

## はじめに

### ～「親をまなぶ・親をつたえる」 小学生向け親学習教材の発行にあたって～

地域社会の人と人のつながりが薄れ、少子化が進む中、保護者の育児不安や育児ストレスが増加しています。さらには育児放棄や子どもへの虐待など危機的な状況が私たちを取り巻いています。

地域社会において親と子のかかわりや子育てについておとな達が積極的に学びあう必要性が指摘され、親学習のための最初の教材『「親」をまなぶ・「親」をつたえる』が作成されたのは平成16年3月でした。この親学習プログラムは社会教育の特質を活かした参加体験型の学習プログラムであることから、多くの方々の関心を呼び、その後各地域で学習教材として活用されることになりました。

大阪府ではこの教材を使って地域社会で親学習活動の推進役となる人材の養成に力を入れ、平成16～18年度の3年間に約400人の方が養成講座を修了しました。

今では講座を修了した方々が、各市町村で子育て支援グループをつくり、コミュニティセンターなどで子育て真っ最中の親たちとともに対話や交流をとおして子育ての大切さ等についての相互学習を進めています。さらには学校にも出かけていき総合的な学習の時間に、教材を活用して中学生・高校生たちにも働きかけて、生命の大切さや「親になること」を学びあう授業を創り出しています。

こうした先駆的な実践をとおして、学校教育の中でも積極的に親と子のかかわりについて学ぶ機会を持つことが、よい親子関係を確立していくために大切であるということがわかってきました。

教育基本法が改正され、家庭教育支援や保護者を支援する施策の充実が求められています。大阪府では、学校・家庭・地域の協働による家庭教育支援事業を進める一方、さらに今後は次代を担う子ども達が学校の授業をとおして親と子のかかわりを学ぶ機会を持てるようにと、ここに新しく小学生向け親学習教材を作成しました。核家族化がすすむ今日では、子どももおとなも共にこのような相互学習の機会が求められています。この参加体験型学習教材が将来、親となっていく子どもたちの家庭での仕事や家族とのふれあい、お互いを思いやり尊重しあう学びに役に立つことを願っています。

作成にあたりご協力いただいた関係者の皆様に感謝するとともに、親学習教材をよりよいものに改善するために、ご利用いただいた皆様からご意見・ご感想をいただければ幸いです。



親学習教材作成委員会  
委員長 岩堂 美智子

# 1 教材について



## (1) 対象

小学5・6年生

## (2) ねらい ~みとめあう~

自分自身のことをふりかえり、親と自分との関係や家庭での自分の役割等について、考えるきっかけとする

### I 気づく

・家庭をささえている仕事や家族のそれぞれの役割について考え、その大切さに気づく

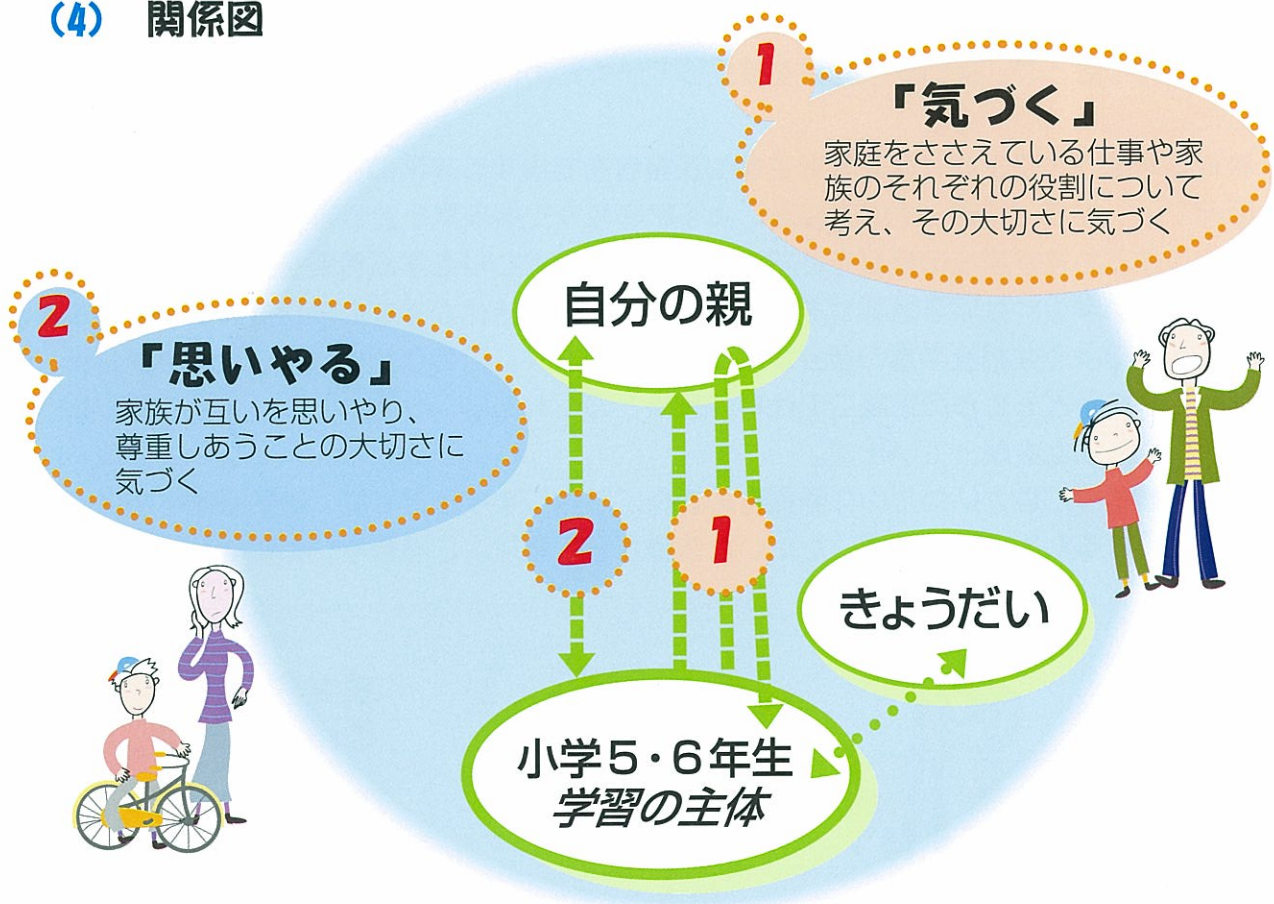
### II 思いやる

・家族が互いを思いやり、尊重しあうことの大切さに気づく

## (3) 構成

1. エピソード・・・話しあいのきっかけとなる身近なエピソードを提供
2. グループワーク・・・グループで話し合うためのポイントを提示
3. 参考資料・・・学習を発展させていくためのヒントとして活用できるデータを提供

## (4) 関係図



## 2 参加体験型学習について



### \*ワークショップ (Work Shop) とは

ワークショップには「仕事場、作業場」という意味があります。学習者の意見交換や共同作業をすすめる、体験的で参加型の学習を展開する研修方法のことを言います。

ワークショップは、**学習者の経験や知識、感性、価値観**といったさまざまなものを持ち寄って作る"学びの場"です。

### 【ワークショップを有効な"学びの場"とするために】

#### ◇学習者が主役

- ・参加体験型学習において何よりも重要なことは、学習者を信じるということです。学習者は話すべきものを必ず持っています。体験をより大きな気づきへと導くこと、学習者を励まし、持っている力を十分に発揮できるよう働きかけて一緒に学びをつくりあげていくことが大切です。
- ・最初から**正解**はこれだ、**こうあらねばならない**ということを押しつけるのではなく、学習者が**自分のこととして考えられるような工夫**をすること、そのためのいろいろな切り口をどう用意するかという観点から、**自由な対話や討議が可能となる素材を提供**することが大切です。

### \*ファシリテーター (Facilitator) とは

ファシリテーターには、「用意する人、促進する人」という意味があります。ワークショップにおいて、学びの課程を組み立て、進行する人のことを言います。学習者が「自ら気づく」「自分のこととして考える」ことが大切なテーマにおいては、ファシリテーターはとても有効な役割を果たすことができます。

### ■ファシリテーターの役割

- ・ファシリテーターは、学習者の主体的な気づきを尊重しながら学びを促し、問題解決のためのコミュニケーション力など、必要な技術やスキルが身につくよう働きかけます。
- ・人の行動が変わるための力は「その人が持っている」、言い換えれば「自ら気づいた」ときに人は変わります。そのような力が学習者自身から出てくるようエンパワーすることがファシリテーターの役割です。

## ■ファシリテーターの留意点

- ① 開放的で、安心できる雰囲気（環境）づくり
  - \* 学習者の緊張を和らげ、安心して自分の意見が出せるような働きかけ（アイスブレイキング等）が有効
  - \* 「秘密は守る」「他人の発言を否定しない」等の一定のルールも必要
- ② 学習者にとって共通の話題となり得る素材を提供
  - \* 学習者が身近に捉えることができ、それぞれの経験や知識と結びつくもの
  - \* 学習者の考え（価値観）に"揺れ"をもたらすエピソード等が有効
- ③ 状況を見ながら、適当な「働きかけ」を行う
  - \* 討議のプロセスを理解し、大切にすることが重要
  - \* 「操作」にならないように注意すること



- ◎ 「働きかけ」と「操作」
- ・ 働きかけ ⇒ 観点を变えてヒントを与える  
「こんなふうな捉え方はどうかな」  
「こういう考えもできるんじゃない」 etc
  - ・ 操作 ⇒ 議論を否定したり、一定の方向に誘導する  
「それは無理だ」  
「こうするべきでしょう」 etc

- ④ 話し合うテーマに関して正解を教えるのではなく、解決は学習者自身に任せること
  - \* 学習者各人、ならびに全体での「ふりかえり」が重要

## ■参加者とのかわり

・ 学習者の前に立つ者（講師等）の役割・タイプは、次の3つが代表的です。

	タイプ	適した場面等
ファシリテーター	促進者・触媒タイプ	・ 参加者の気づきを促す ・ 参加体験型学習
インタープリター	解説者・仲介タイプ	・ 他のものからのメッセージの解説 ・ 自然観察会
インストラクター	指導者・伝授タイプ	・ 機器の使い方の説明 ・ 知識・技術の伝授

\* これらの役割・タイプは学習においてどれも必要なもので、学習者に「どのような力をつけたいのか」、「学習の目的は何か」等によってうまく選択することが大切です。



# 指導例



## 『気づく』 指導例①

- 学習のねらい 家庭をささえている仕事や家族のそれぞれの役割について考える
- 学習の展開例 【児童が司会進行や劇をする場合】

時 間	活動・ファシリテート	留 意 点
2分	教材（シート）の配付 ・班で劇をしてもらいますので、なかよく役割を決めて、練習してください ・5分たったらストップをかけます ・でははじめてください	登場人物 3人 ナレーター 1人
5分	班で役割分担をする エピソードを読みあう	各班の練習の様子（参加の状況）を観察する
5分	司会者（劇をする） ・では発表の班は前に出てきてください ・発表をお願いします （劇終了後） ・ありがとうございました 〔拍手〕 ・それでは次の班、お願いします	代表で2班程度にロールプレイをしてもらう  シートを見ながら劇をしてもよい 1班の発表は2分程度
30分	司会者（グループワーク） 各自で書き込み（5分） ・2ページを見てください ・質問をよく読んで自分の意見を書き込んでください ・5分たったら合図をしますので、書き込みをやめてください 班ごとに話しあい（10分） ・書くのをやめて、書いたことを班の人たちと話しあってください ・班ごとに司会者を決めて進めてください ・時間は10分です 全体で話しあい（10分） ・今度は全体で話しあいます ・みゆきさんの「……………」について意見を言ってください ・「家庭をささえている仕事」「だれがしているか」について意見を言ってください 司会者（参考資料）（5分） ・参考資料を見てください	短くてもよいので、できるだけ全員が記入するよう支援する  各班の話し合いの様子（意見がでているか、みんなが発言しているかなど）を観察する  1班1人ぐらいに発表してもらう 指導者が黒板に記録する  指導者が説明する
3分	司会者（学習のふりかえり） ・今日の学習について、どのような感想を持ったかアンケートに書いてください アンケートの配付 ・書けたら提出してください ・休憩の合図まで待っていてください ・これで終わります	学習のふりかえりとして、アンケートに記入してもらう  （機会があれば）アンケートの感想も児童にかえしていく

準備物 タイマー、司会者用のいす、劇用のつくえやいす

☆ 45分授業のめやすです



## 『気づく』 指導例 ②

- 学習のねらい 家庭をささえている仕事や家族のそれぞれの役割について考える
- 学習の展開例

時 間	活動・ファシリテート	留 意 点
5 分	エピソードの読み上げ（全員で） ・全員でエピソードを読んでみましょう エピソードの読み上げ（劇形式） ・次に役割分担して読みあわせをします ・〇〇の役をしてくれる人いますか	立候補してもらう 登場人物 4人 ナレーター 1人
5 分	ワークシートの書き込み ・2ページを見てください ・質問をよく読んで自分の意見を書き込んでください ・5分たったら合図をしますので、書き込みをやめてください ・司会をする人と発表する人を決めてください	短くてもよいので、できるだけ 全員が記入するよう支援する
10 分	グループワーク ・書くのをやめて、書いたことについて班の人たちと話しあってください ・司会者が話を進めてください ・時間は10分です（話しあい終了）	各班の話しあいの様子（みんなが発言しているかなど）を観察する
10 分	発表 ・話しあいをやめてください ・それでは班ごとに出てきた意見を発表してもらいます	指導者が黒板に記録する
10 分	意見交換 ・今度は全体で話しあいます ・出てきた意見についてどう思ったか、意見を言ってください	1班1人ぐらいに発表してもらう
5 分	学習のふりかえり ・参考資料を見てください ・今日の学習について、どのような感想を持ったかアンケートに書いてください アンケートの配付 ・書けたら提出してください ・休憩の合図まで待っていてください ・これで終わります	指導者が説明する アンケートに記入してもらう （機会があれば）アンケートの感想も児童にかえしていく

☆ 45分授業のめやすです

## 『思いやる』 指導例①

- 学習のねらい 家族が互いを思いやり、尊重しあうことの大切さに気づく
- 学習の展開例 【児童が司会進行や劇をする場合】

時 間	活動・ファシリテート	留 意 点
2分	教材（シート）の配付 ・班で劇をしてもらいますので、なかよく役割を決めて、練習してください ・5分たったらストップをかけます ・でははじめてください	登場人物 4人 ナレーター 1人
5分	班で役割分担をする エピソードを読みあう	各班の練習の様子（参加の状況）を観察する
5分	司会者（劇をする） ・では発表の班は前に出てきてください ・発表をお願いします （劇終了後） ・ありがとうございました 〔拍手〕 ・それでは次の班、お願いします	代表で2班程度にロールプレイしてもらおう  シートを見ながら劇をしてもよい 1班の発表は2分程度
30分	司会者（グループワーク） 各自で書き込み（5分） ・2ページを見てください ・今日は〇〇さんの意見について自分の意見を書き込んでください ・5分たったら合図をしますので、書き込みをやめてください 班ごとに話しあい（10分） ・書くのをやめて、書いたことを班の人たちと話しあってください ・班ごとに司会者を決めて進めてください ・時間は10分です 全体で話しあい（10分） ・今度は全体で話しあいます ・〇〇さんの意見についてどう思いますか 意見を言ってください 司会者（参考資料） ・参考資料を見てください	短くてもよいので、できるだけ全員が記入するよう支援する  各班の話しあいの様子（意見がでているか、みんなが発言しているかなど）を観察する  1班1人ぐらいに発表してもらおう 指導者が黒板に記録する  指導者が説明する
3分	司会者（学習のふりかえり） ・今日の学習について、どのような感想を持ったかアンケートに書いてください アンケートの配付 ・書けたら提出してください ・休憩の合図まで待っていてください ・これで終わります	学習のふりかえりとして、アンケートに記入してもらおう  （機会があれば）アンケートの感想も児童にかえしていく

準備物 タイマー、司会者用のいす、劇用のつくえやいす、なべ、たまじゃくし  
 ☆45分授業のめやすです

## 『思いやる』 指導例 ②

- 学習のねらい 家族が互いを思いやり、尊重しあうことの大切さに気づく
- 学習の展開例

時 間	活動・ファシリテート	留 意 点
5 分	エピソードの読み上げ（全員） ・全員でエピソードを読んでみましょう エピソードの読み上げ（劇形式） ・次に役割分担して読みあわせをします ・〇〇の役をしてくれる人いますか	立候補してもらおう 登場人物 4人 ナレーター 1人
5 分	ワークシートの書き込み ・2ページを見てください ・質問をよく読んで自分の意見を書き込んでください ・5分たったら合図をしますので、書き込みをやめてください ・司会をする人と発表する人を決めてください	短くてもよいので、できるだけ全員が記入するように支援する
10 分	グループワーク ・書くのをやめて、書いたことについて班の人たちと話しあってください ・司会者が話を進めてください ・時間は10分です（話しあい終了）	各班の話しあいの様子（みんなが発言しているかなど）を観察する
10 分	発表 ・話しあいをやめてください ・それでは班ごとに出てきた意見を発表してもらいます	指導者が黒板に記録する
10 分	意見交換 ・今度は全体で話しあいをします ・出てきた意見についてどう思ったか、意見を言ってください	1班1人ぐらいに発表してもらおう
5 分	学習のふりかえり ・参考資料を見てください ・今日の学習について、どのような感想をもったかアンケートに記入してください アンケートの配付 ・書けたら提出してください ・休憩の合図まで待っていてください ・これで終わります	指導者が説明する アンケートに記入してもらおう （機会があれば）アンケートの感想も児童にかえしていく

☆ 45分授業のめやすです

## 「親」をまなぶ・「親」をつたえる (小学生向) 指導用教材

---

平成19年7月発行

編集・発行 大阪府教育委員会事務局 市町村教育室 地域教育振興課  
〒540-8571 大阪府中央区大手前2 電話06(6941)0351(代表)

<http://www.pref.osaka.jp/kyoicityyson/chiikikyoikushinko/index.html>

イラスト 森田 興子